

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名：構造的心疾患における心エコー検査の有用性に関する研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 循環器内科 職位・氏名 准教授・原英彦

【研究の目的】

構造的心疾患(弁膜症疾患や心房中隔欠損症、動脈管開存症、左心耳内血栓症など)に対するカテーテルを用いた治療の適応が急速に拡大していますが、今後さらなる高齢化が進む現代では、安全性の高い治療方法が望まれます。治療には海外のデバイスが使用されるため、体格の小さい日本人にとって最適なデバイスサイズは異なっている可能性があります。構造的心疾患の診断、治療後の観察には主に心エコー検査が用いられます。東邦大学医療センター大橋病院循環器内科では、構造的心疾患のスクリーニング、治療適応、治療後のフォローにおける心エコー検査の有用性を検証することを目的として本研究を計画しました。この研究によって日本人における構造的心疾患の診断や治療選択に関する研究が進むと考えられます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院の倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者:2011年1月～2024年3月までに東邦大学医療センター大橋病院で構造的心疾患の診断もしくは治療のために心エコー検査を受けた患者様を対象とし、診療録(カルテ)、血液検査、画像検査等を集積し、イベントの発生(死亡、心血管病、脳卒中、デバイス関連合併症など)と心エコー指標との関連を解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:患者背景(年齢、性別など)、病歴、診療の治療歴、予後データ(死亡、心不全再入院、脳卒中など)、画像データ(心電図、CT、MRI、心エコー)など

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師: 原英彦 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科

職位・氏名 准教授・原英彦

電話 03-3468-1251 内線 7122